

地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム①

趣旨

関東運輸局では、有識者によるパネルディスカッション等を通じて、幅広く地域の公共交通の確保維持に関する課題の共有を図るとともに、解決の方向性を探ることを目的として、平成24年9月26日(水)に「地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム」を開催しました。

概要

日時:平成24年9月26日(水)14:00~17:30

場所:海運クラブ2階ホール(東京都千代田区)

参加者:318名

【プログラム】

○平成24年 地域公共交通優良団体大臣表彰

○挨拶 国土交通省総合政策局公共交通政策部長 藤田 耕三

○事例発表(大臣表彰受賞者)

檜原村地域公共交通活性化協議会 久保嶋 光浩氏 (檜原村 企画財政課長)

佐野市地域公共交通協議会 大越 裕之氏 (佐野市 市民生活部交通生活課長)

珠洲市地域公共交通活性化協議会 金田 直之氏 (珠洲市 企画財政課長)

北設楽郡公共交通活性化協議会 横山 光明氏 (設楽町長)、尾林 克時氏 (東栄町長)

伊藤 実氏 (豊根村長)、原田 利一氏 (設楽町 企画課長)

倉敷市地域公共交通会議 下村 隆之氏 (倉敷市 建設局都市計画部交通政策課主幹)

○パネルディスカッション

テーマ:「地域の連携・協働による公共交通の再生方策」

コーディネーター: 元田 良孝氏 (岩手県立大学総合政策学部 教授)

パネリスト:

・大臣表彰受賞者: 金田 直之氏 (珠洲市 企画財政課長)

・地域公共交通マイスター: 保坂 富士雄氏 (秦野市 都市部公共交通推進課長)

谷島 賢氏 (イーグルバス株式会社 代表取締役社長)

為国 孝敏氏 (特定非営利活動法人 まちづくり支援センター 代表理事)

・学識経験者: 轟 朝幸氏 (日本大学理工学部社会交通工学科 教授)

○閉会挨拶 国土交通省関東運輸局長 内波 謙一



<当日の様子>

地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム②

パネルディスカッション「地域の連携・協働による公共交通の再生方策」



コーディネーター 元田教授



パネリストの各氏（左より金田氏、保坂氏、谷島氏、為国氏、轟氏）

<主なご意見>

○ 課題を解決する努力と人材育成

バス事業者には住民へのサービス追求などで乗客を増やす努力が必要であり、行政には住民への正しい情報提供やPRを行うことや関係機関との調整をしっかりと行うことが重要である。また、これらを行うためのスキルアップも必要である。

○ 関係者間の情報提供、目標共有化

関係者として誰が連携するのかを考え、漏れなく情報提供を行い、関係者間で目標を共有化することが重要である。専門家や詳しい人が活躍できる環境も必要である。

○ 役割分担を明確にした関係者間で連携を

連携・協働における役割が曖昧だと、必要なことが実施されないこともあるので、役割分担を明確にすることが重要である。そのうえで、関係者間が連携し、維持可能な公共交通を構築していただきたい。